

令和元年第4回市議会定例会

市長提案理由

(令和元年12月5日提案)

提案理由の説明に先立ち、台風15号及び19号による被害に遭われた方々にこの場をお借りして御見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈りいたします。

次に、前農業委員会会長の辞任についてです。

11月15日付けで、前農業委員会会長から、会長職及び農業委員の辞任届が提出されました。これを受け、11月19日に農業委員会総会において辞任の同意があり、同日、市長といたしまして農業委員の辞任に同意いたしました。

次に、救急自動車が救急搬送中の交通事故により、負傷者を出したことに付きまして、被害者と関係者にお詫び申し上げますとともに、交通事故の防止を徹底し、市政への信頼回復に努めます。

それでは、市政諸般の御報告と今回提出した諸議案の概要について御説明いたします。

一月半に及ぶラグビーワールドカップ2019日本大会が11月2日に幕を閉じました。各試合では選手たちのハイレベルなプレーやパフォーマンスに魅せられると同時に、街には、欧米やオセアニアなどから応援に訪れた多くの観光客で溢れました。これまで見たことのない景色を目の当たりにし、別府にいながら、様々な国の人々と交流し、異文化に触れる事ができました。これは未来につながる財産です。

また、ボランティアスタッフなどが、「ラグビーワールドカップ」を共に楽しみ、演出し、盛り上げていただいたことが成功の大きな原動力となりました。

この場をお借りして、御参加いただきました皆様と御賛同いただきました皆様に、厚くお礼を申し上げます。

感動を忘れず、経験を生かして別府を動かすエンジンになってほしいと願います。

10月1日には、公認チームキャンプ地で唯一、「ニュージーランドオールブラックス」との地域交流イベントがビーコンプラザにおいて開催されました。来県が決まった時点から実現を目指し、チームに働きかけてきた関係者の思いが実ったものです。

スター選手とラグビースクールの子どもたちが直接触れ合い、パス回しやボールキャッチなどの練習に夢中になって取り組みました。公認チームキャンプ

地では、練習の見学や選手との交流機会が制限される中、オールブラックスが開催したこのイベントは、まさに一生に一度の貴重な機会になりました。

ラグビーワールドカップでは、国内外からの観光客流入による経済効果の外に、地域に生み出される持続的な効果を創出し、次世代に継承していくことが重要となることから、レガシーを常に意識し、受入準備を進めてまいりました。公認キャンプ実施のために、国庫補助金や助成金により整備した実相寺多目的グラウンドやハイパフォーマンスジムは、市民スポーツの推進や健康づくりのための施設として活用されます。

また、令和元年度学校部活動充実支援事業「拠点型運動部モデル実践事業」に別府市が指定されました。これを受け、10月24日に鶴見台中学校を拠点校として、中学ラグビー部が活動を開始いたしました。

さて、来年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。その取組として、現在「共生社会ホストタウン」の登録を申請しています。共生社会ホストタウンは、パラリンピアンとの交流やユニバーサルデザインの街づくり、心のバリアフリーの取組により共生社会の実現を推進するものです。

太陽の家がある本市は、「共生社会の街」であり、おもいやりの街であることを国内外に発信するとともに、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、更なる共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

次に、組織機構改革についてです。

組織機構改革につきましては、「住民ニーズと新たな行政課題の解決に取り組む体制の構築」及び「コンパクトな組織による意思決定の効率化と職員力が発揮できる組織づくり」を基本方針に編成しました。

主なものといたしましては、10月1日に新設した「いきいき健幸部」に健康に関する事務事業を集約し、総合的に市民の健康増進を推進するほか、防災局を新設し、部局間の連携強化による防災力の一層の向上を図ります。

また、組織のスリム化により、限られた行政資源を有効的に活用しつつ、期待される役割が最大限に発揮できる組織づくりに努め、市民に寄り添い、市民の期待に応える市役所を目指します。

次に、株式会社タニタヘルスリンクと別府市による「別府市民の健康づくり

に関する包括連携協定」についてです。

株式会社タニタヘルスリンクは、WEBサイトやアプリを用いた健康管理サービス、専門家による健康指導など、より実践的な健康づくりをワンストップで提供している会社です。本日予定している協定の締結により、運動習慣の定着や健康寿命の延伸等に向けて市民の健康の維持・向上を目指します。

次に、別府ONSENアカデミアについてです。

今回で4回目となる別府ONSENアカデミアは、全国の温泉地と温泉に関わる方々をお迎えし、2日間にわたり開催しました。

別府の温泉文化を継承しながら、新たな形の温泉文化の取組を学ぶ講演や世界中の旅行目的となっているウェルネスと別府ならではの湯治文化を融合させて、暮らすように旅することの魅力について、情報発信と新しい湯治に期待するディスカッションなどが行われました。

温泉に関わるすべての人たちの幸せにつなげるために、別府ONSENアカデミアは継続的に成長してまいります。

また、アカデミア開催中、移動式のエア－ハウス型別府温泉「幻想の湯」を公開しました。

浴場施設を含め、源泉100パーセントの別府温泉を丸ごとお届けするという、世界でも唯一の試みをスタートする施設です。

第1便として11月23日におんせん県おおいた「地獄蒸し祭り」in東京タワー2019において、第2便として12月1日に立命館大学びわこ・くさつキャンパスの学園祭において開店し、温泉プロモーションを実施しました。

稼げる施設、別府温泉「幻想の湯」を全国に向けて発信してまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、6億8,400万円の増額で、補正後の予算額は518億9,700万円となります。

その主なものとして、民生費では、事業所数や定員数の増加に伴う自立支援給付費及び障害児通所支援費並びに支給回数の変更に伴う児童扶養手当の追加額を計上しています。

衛生費では、令和2年10月から市町村民税非課税世帯の小中学生の通院医

療費を助成するために必要なシステム改修費を計上しています。

教育費では、中学校の部活動において、九州大会及び全国大会への出場者が増加したことに伴い、別府市中学校体育連盟補助金の追加額を計上しています。

また、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを契機として、障がい者と共生する本市の姿を国内外に広く情報発信し、心のバリアフリーを推進する「おもいやりの街別府」の認知度を向上するための経費を計上しています。

災害復旧費では、台風8号及び10号により、枝郷や天間などの農地や農業用施設の一部が崩壊する被害を受けましたので、復旧に係る所要の経費を計上しています。

また、各款では、人事院勧告に準拠した給与改定等に伴う職員人件費の補正を計上しています。

次に、特別会計ですが一般会計と同様に、各会計で職員人件費の補正を計上しており、今回の補正額は、2,290万円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は540億4,348万8千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要であります。

次に、予算外の議案について御説明申し上げます。

予算外の議案については、「条例関係18件」を提出しています。

議第119号「別府市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について」から議第122号「別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について」までの4議案は、地方公務員法の一部改正により定められた会計年度任用職員制度に関し、条例を制定し、及び改正しようとするものです。

議第123号「別府市役所事務分掌条例の一部改正について」及び議第124号「別府市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定について」は、機構改革により部等の改編をするとともに、教育に関する事務のうちスポーツに関することを市長が管理し、及び執行することに伴い、条例の改正及び

制定をしようとするものです。

議第125号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」及び議第133号「別府市環境保全条例の一部改正について」は、地方公務員法の一部が改正され、特別職の任用が厳格化されたことによる非常勤特別職の見直しに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第126号「特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について」は、市長等に支給する期末手当の額を、議第127号「別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、職員の給与を、それぞれ改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第128号「別府市手数料条例の一部改正について」は、住民基本台帳法の一部が改正され、除票の写しの交付等が規定されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第129号「別府市総合教育センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、総合教育センターの事業の見直しに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第130号「別府市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、児童福祉法の一部が改正され、条例が引用する条項に移動が生じたため、条例を改正しようとするものです。

議第131号「別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法に基づき条例を制定するに当たり従うべき基準等を定める内閣府令の一部改正において、訂正がされたため、条例を改正しようとするものです。

議第132号「別府市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について」は、市町村民税が非課税の世帯に属する小中学生の通院に係る医療費を助成す

ることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第134号「別府市竹細工伝統産業会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、竹細工伝統産業会館の管理を指定管理者に行わせることができるようにするため、条例を改正しようとするものです。

議第135号「別府市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、亀川地区市営住宅集約建替事業による市営住宅の解体に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第136号「別府市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について」は、下水道事業に地方公営企業法を全部適用し、下水道事業と水道事業を統合することに伴い、条例を改正しようとするものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。